

■合唱組曲「唐津」の紹介

<この情報提供>

西宮混声合唱団でご活躍の藤田耕太郎（東1期）さんからいただきました
故郷唐津の良さや歴史と文化を 下記のインターネットで味わってください

合唱組曲「唐津」の演奏会が10/10に小泉和裕さん指揮の九州交響楽団と唐津市民合唱団
の協演により唐津市民会館大ホールで演奏され、大成功でした。（演奏時間 約35分）
（参考までに指揮者の小泉和裕さんの奥様は唐津出身で唐津市鏡にもお住まいがあります）

当日の演奏会の模様がインターネットに掲載されています。誰でもパソコンで当日の雰囲気の要
点を鑑賞できるようになっていますのでお知らせいたします。

<インターネットの入力方法>

1.「唐津ケーブルテレビ ピーぷる放送アーカイブス」と入力して検索する

2.ピープル放送アーカイブスの画面を表示する

動画アーカイブス検索 で次の入力を

⇒番組名：50News

⇒放送日(前) 2016年10月11日～放送日(後) 2016年10月11日

3.ケーブルテレビの当日放送の5分後から 合唱組曲「唐津」が放送されます



アンコールでは合唱指導の永富啓子さんも登場して「唐津市歌」が演奏されました



少年・少女の皆さんも頑張っています



唐津市歌は覚えやすい歌です、みんなで歌いましょう

<合唱組曲演奏会の開催までの経緯>

日本を代表する作曲家、故・團伊玖磨氏。劇作家で作詞家の故・栗原一登氏。数々の“ふるさと賛歌”を輩出するこの2つの才気によって、1982年に合唱組曲「唐津」は生み出されました。唐津市の市政50周年を記念して制作されたこの組曲は、鏡山や虹ノ松原、七ツ釜などの唐津の自然や佐用姫伝説、唐津焼、唐津くんちといった唐津の文化を、時に叙情豊かに、時に軽快に、時に勇壮に綴る全7曲およそ35分の大曲です。

しかし完成後、組曲の一部「唐津市歌」は発表されたものの全曲の演奏は行われることなく永らく眠りについたままになっていました。この幻の名曲に命を吹き込み“ふるさの宝”として育てていこうと2015年3月に実行委員会が発足。同年7月には200名近い市民からなる合唱団を結成し、同年8月より月3回のペースで約1年3か月にわたり熱心に練習を積み重ねてきました。

そして今回世界的に活躍されている指揮者・小泉和裕氏と小泉氏が音楽監督を務める九州交響楽団とともに地元唐津での全曲初演が実現しました。34年の時を経て、いよいよ合唱組曲「唐津」の全貌を皆さんにご披露できることに大きな喜びと感動を覚えるとともに、10年後、20年後に合唱組曲「唐津」が真に“ふるさとの宝”として愛されることを願ってやみません。

2016年10月10日

合唱組曲「唐津」実行委員会